

平成 26 年度海外短期研修報告書

マレーシア春期英語研修（平成 27 年 2 月 23 日～3 月 20 日）

システムデザイン学部航空宇宙システム工学コース 2 年 岩藤 碩哉

★研修前の目標…

- ①たくさん友達を作り、美味しいものを食べ、遊び尽くす！
- ②毎日英語で日記をつける！③可能な限りの事に挑戦する

★マレーシアについて

一年中気温が 33 度近くあって、スコールが降っても 20 分程度待てばやむので、半袖、半ズボンに加え、天気予報を見る必要がありませんでした。物価は日本の 1/3！食べ放題です。あと、イスラム教なので女性のヒジャブ（スカーフ）やコーランは異国を感じさせました。人も非常にのんびりしていて**遅刻するのが文化**…みたいな(笑)

★奇跡的なクラスメイト！！

英語のクラスを受けたという印象よりも、僕らのクラスはとにかく愉快的クラスでした！授業中の質問だけではなく、ジョークがあふれるように飛び交い、そのたびに大騒ぎする、ものすごく楽しかった、奇跡のようなクラスメイトでした。**パングラデシュ、イラン、サウジアラビア、パレスチナ、シリア、オマーン、スーダン、韓国、中国、マレーシア、インドネシア、そして私たち日本人。**なんと**12 か国**の人々が1ヶ月間同じ教室で授業をやったのです。特に日本にいと欧米の文化に触れる機会は山ほどありますが、中東の文化、イスラムの文化に触れることはめったにありませんから本当に刺激的な日々でした。授業中より休憩時間にみんなと話すのが毎日の楽しみでしたね！

★たくさん遊んだこと

仲良くなったクラスメイトと毎日一緒に食べたお昼でも、話のネタは尽きず、非常に楽しい日々でした。授業後も**ショッピングモール**に行ってお遊んでみたり…

寮の人ともたくさん友達になりました。一緒に**バスケット**をしたり、**プール**に行ったり、休みの日は**旅行**に行ったり、**F1**（自動車レース）を見に行ったり。すべて自分次第！



↑全員ではないけどクラスメイト

前列右から二番目の白いヒジャブを着ている人が我らが先生



★Funny Stories

◦ Are you gentleman or cowboy?

バスターミナルで「トイレはあるか？」とおじさんに聞いたのに、こんな返答が返ってきた。最初は意味が分からず、ちょっと怪しい雰囲気もあったので一応安全そうな「Gentleman」と返したら、「それじゃあ、お前は二階まで行かないといかん。」と。でもこのとき時間がなかったので思わず「Cowboy だ！」と言ったら、ニヤニヤしながら「あっちだ」と何もないところを指差されました…
この意味わかります????(笑)

◦ Because I was searching my way.

クラスに1時間以上遅刻してきたにもかかわらず、「皆さんにお土産を買ってきました！」と言って「ありがとう」とみんなに言われながらお菓子を配ったクラスメイト。先生に「なんでそんなに遅くなったの？」といわれたときに言った言葉がこれ。間髪を入れずにクラスの全員が「それ迷子じゃん!!!!」って突っ込みを入れて、大騒ぎをしました(笑)

◦ Sugoi night

韓国人の友達と互いの言葉を教え合っていたら、ある日 LINE で「Sugoi night」って返ってきた。
.....あ、「Good night って言いたいよね(笑)」

◦ Shut up

授業中のおしゃべりがあまりにうるさかった時に、先生が必死に「Hey guyyys!!!」と呼びかけていたのだが、いっこうに収まらない。そこで生徒の一人が「先生、そういう時は Shut up って言えばいいんですよ。」と一言。「英語の先生としてそんな言葉は使えません！」と先生。(笑) 結局みんなで大爆笑。

★終わりに

●マレーシアが好きになりすぎて、気候も食べ物も文化も向こう流に順応してしまいました。日本に帰ってきた時はホッとするというよりも残念な気持ちでした。「あー、もう終わってしまうのか」と。ちょうど日本は寒かったのが体的にも。ところが、帰り際ふと桜が咲いているのを見て「あ、これが日本か。なんて繊細なんだ。」と感動してようやく日本に帰ってきたという実感がわいたのを覚えています。

●必ず彼らの国に行って、再会を果たしたいと思える友達が本当にたくさんできたこと。彼らの存在が自分にとっての宝物です。この夏にも絶対に会いに行く約束をしました！

